

1/19-25#1生ける星としての天のキリストの今日の、即時的な、生けるビジョン:I.イエスがベツレヘムで生まれた後、星観測者たちは東からエルサレムに着いて、言いました、「ユダヤ人の王として生まれた方はどこにおられますか？私たちは彼の星が昇るのを見たので、彼を礼拝しにきました」(マタイ2:2)。これは民数記24:17の成就でした。それは、「一つの星がヤコブから出て来て」と言っています。この星はキリストを指しています:民24:17 一つの星がヤコブから出て来て、王の杖がイスラエルから起る。彼はモアブの隅々を碎き、セツのすべての子たちを打ち碎く。A星観測者たちは、「私たちは『一つの』星を見た」とか、「私たちは『その』星を見た」と言ったのではなく、「私たちは『彼の』星を見た」と言いました。その星は天的なキリストです。Bマタイ2:2で語られている星は、これらの学者に示されました。それはイスラエルの民のだれにも現れませんでした。ユダヤ人は、キリストに関する聖書を持っており、彼がどこで生まれるかを知っていましたが、星観測者たちは、キリストの星を見ました。Cユダヤ人は、キリストがどこで生まれるかに関する文字の知識を持っていましたが、東方からのこれらの学者は、彼についての生けるビジョンを受けました。最終的に、その星は彼らをキリストがいる場所に導きました。ミカ5:2しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの千万の間で最も小さいが、あなたから私へと、イスラエルの支配者となる者が出て来る。また、彼の出て行くことは太古から、永遠の日々からである。Dキリストは真の太陽ですが、厳密に言って、彼は夜の時代には太陽として現れません。むしろ、彼は星として輝きます。星は夜に輝きますが、それは昼が来つつあることを示します。Eキリストは一度目に来たとき、公に星として現れましたが、二度目に来るとき、目を覚まして彼の来臨を待ち望んでいる彼の勝利者たちにとって、明けの明星となります。他のすべての人たちにとって、キリストは後ほど太陽として現れます。II.マタイ2:1から12が啓示しているのは、キリストを見いだすことが生ける事柄であって、単なる聖書の教理的な知識の事柄ではないということです：Aその星は、聖地の宮から、ユダヤ人の宗教の中心から、祭司、聖書学者、パリサイ人から、すべての宗教的な人々から遠く離れた所に現れました。むしろ、異教の地にキリストからのものを示す星がありました。Bただ聖書を私たちの手に持って、キリストがベツレヘムで生まれることになっていると言っているミカ5:2を読むだけでは、役に立ちません。私たちは聖書を持っているかもしれません、天の星を見失っているかもしれません。C星は、生ける啓示

であり、生けるビジョンであって、聖書の古くて死んだ教理的な知識ではなく、ミカ5:2の死んだ知識でもありません。今日私たちが必要とするものは、単なる聖書の知識ではなく、天のビジョン、今日の、即時的なビジョン、生けるビジョン、人の観念が決して教えることのできないビジョンです。D私たちは聖書の知識を持っていても、依然として即時的な、今日の、生ける星が私たちを、イエスがおられるその道、その家に導くことを必要とします。E生けるビジョンを受けた後、星観測者たちは人の観念によって誤って導かれて、ユダヤの国首都であるエルサレム、すなわち、その王が生まれると思われていた所に行きました。彼らが誤って導かれたことによって、多くの幼い男の子たちが殺されました。F彼らがエルサレムに到着し、ユダヤ人の王がどこで生まれるかに関して訪ねた時、聖書は、「ヘロデ王はこれを聞くと当惑し、エルサレム全体も彼と共に当惑した」と言っています：1彼らはこの知らせを聞いた時、喜ぶべきでしたが、彼らは当惑しました。これは彼らが、救い主を真に追い求めていたからであるに違いありません。2もし主を信じている人が、内側の感情において愛としての主によって影響を受けていないなら、彼はクリスチヤンと呼ばれる価値がありません。3主が来る事を期待している、あるいは携え上げられることを期待しているクリスチヤンは、このことを警告として受け取るべきです。G星観測者たちは聖書によって正された後、ベツレヘムに行きました。すると、星が再び彼らに現れ、キリストがおられる場所に彼らを導きました。「彼らはその星を見た時、大いに喜び歓喜した」：1星観測者たちが聖書によって正され、正しい路線に戻された時、その星は彼らに再び現れました。生けるビジョンは常に聖書に伴います。2祭司は、律法を人々に教える者たちであり、聖書学者は、聖書を知っている者たちでした。祭司と聖書学者はいずれも、キリストの誕生に関する知識を持っていましたが、東方からの星観測者たちは異なり、ビジョンを見ず、キリストを尋ね求める心も持っていました。3私たちがどれほど「聖書的」であっても、もし主の臨在を失うなら、私たちは完全に間違っています。主を見いだし主に従う新約の道は、彼の隠れた臨在の中に絶えずとどまることです。4聖書の知識を蓄えることは容易ですが、もし私たちが生ける導きを持つとするなら、主との親密な関係の中に生きなければなりません。私たちは彼と一緒になければなりません。5星観測者たちはキリストを見て、礼拝しました。それから彼らは夢の中で、ヘロデの所に戻ってはならないと神に警告されました。ですから、彼らは「別の道を通つ

て」、自分たちの国へと旅立ちました。ひとたび私たちはキリストを見たなら、決して同じ道、すなわち、キリストから離れた宗教の道を取らず、常に別の道を取ります。**III.キリストに忠信に従う者たちは、輝く生ける星たちであり、彼らは輝く生ける星としてのキリストに従って彼の複製となります:**ダニエル12:3

思慮深い人々は大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導く者は星のように永遠に至ります。**A**キリストは、神のエコノミーの中心性また普遍性であり、生ける星たちは、キリストの天的で、生きた、今日の、即時的なビジョンに従います。**B**生ける星たちは、神の民を祝福する者たちです。私たちは、神の民のゆえに主を賛美すればするほど、また信仰の中で彼らについて積極的に語れば語るほど、ますます自分自身を神の祝福の下に置きます。**C**生ける星たちは、聖書の預言者の言葉を、「暗い所に輝くともし火のように」、よくよく心にとめており、明けの明星としてのキリストを日ごとに彼らの心に昇らせます。私たちが聖書の言葉をよくよく心にとめるなら、彼が実際に明けの明星として出現する前に、彼は私たちの心に昇り、今日私たちがいる背教の暗やみの中で輝きます。**1**明けの明星の原則によれば、クリスチヤンは朝早く起きるべきです。なぜなら、早朝は主に会う(神と交わり、賛美し歌い、務めの言葉をもって聖書を祈り読みし、主に祈る)最も良い時間であるからです。**2**主は、彼を愛し目を覚まして彼を待ち望んでいる人たちに対して、ご自身を明けの明星としてひそかに与えます。それは、彼が久しく離れていた後に再臨するとき、彼らが彼の臨在の新鮮さを味わうためです。**D**生ける星たちは、七倍に強化された靈を享受し、七倍に強化された靈で満たされています。七倍に強化された靈は彼らを神の建造のために、生き生きとすることを強化し、輝くことを強化します。**E**生ける星たちは諸召会の使者です。彼らは靈なるキリストを、神の使者として、また神からの新鮮なメッセージとして享受し、経験します。それは、彼らが新鮮な現在のキリストを神の民の中へと分与して、イエスの証しとすることができます。**F**生ける星たちは、「心に大きな決意」と「心に大きな探求」を持っています。彼らは神を愛する者であり、「もろもろの星は...その軌道から」神と共に彼の敵と戦った星のような者であって、「力強く昇る太陽のように」なり、「彼らの父の王国で太陽のように輝く」者となります。**G**生ける星たちは、エホバを畏れ、彼のしもべの声を聞き、エホバに信頼する人たちです。それによって彼らは暗やみの中を歩いているとき、光を持ちます。**1**自分自身のために光を作り、神の光の中ではなく、自分で作った光の中を歩く人たち

は、苦しみを受けます。**2**このことは私たちにとって警告であるべきです。それによって私たちは、自分自身のために作る光の中を歩くのではなく、神によって与えられた光の中を歩きます。「来たれ。私たちはエホバの光の中を歩もう」。**H**生ける星たちは、神の回復とさらに進んだ創造からなる第四日に確立された星によって予表されています。彼らは輝くことによって支配します。輝きがあるところに、命の成長のための支配があります。**1**変貌の山で主イエスが輝いたことは、王国が力の中で到来することでした。この輝いたことは、実は三一の神の支配する臨在です。**2**神の王国は、神の支配、神の統治であって、そのすべての祝福と享受を伴っており、主イエスの輝きです。神の王国は、主イエスが私たちの上に輝くことによって拡大することです。**3**王国は、主イエスの実際の輝きです。彼が私たちの上に輝き、私たちが彼の輝きの下にいるときはいつでも、私たちは王国の中にいて、私たちの内側での神の支配と統治の下にいます。それは私たちの命の成長のためです。**I**消極的な面で、ある人々は「さまよう星」です:**1**さまよう星の比喩が示しているのは、気まぐれな教師たち、背教者たちが、天的な啓示の不变の真理に確固として定着しておらず、神の星のような人たちの間をさまよい歩いていたということです。**2**気まぐれな背教者たちは、今日さまよう星ですが、彼らはやがて暗黒の暗やみに閉じ込められます。それは彼らのために永遠に用意されています。**3**だれであれ、地方召会が神のエコノミーの目標ではなく、キリストのからだの実際という目標に到達するための手続きであると教えない者は、今の時代の神の務めの必要に符合していません。だれであれキリストのからだの実際のための諸召会のブレンディングから私たちを切り離す者は、さまよう星です。眞の星たちは、多くの人を義に転向させ、人々をそらすのではなく、正しい道に転向させる人たちです。**4**今日、その生ける星と生ける星たちは、私たちから遠く離れているのではなく、キリストのからだの実行上の表現である地方召会の中に、地方召会と共にいます。すべての地方召会の中には、生ける星たちがいます。私たちはただ彼らと接觸し、彼らと共にいる必要があります。彼らは私たちを、イエスのいる所に導きます。**J**どうか主が私たちをあわれんでください、私たちが常に正しい道に保たれ、主に会い、主を礼拝し、私たちの愛を主にささげますように。どうか主が私たちすべてを星観測者のようにしてください、生ける星に従っていってキリストを見いだし、新しく発見して、生ける星たちとして彼の複製となりますように。